

「子ども・暮らし・環境」フォーラム ～人の成育環境としての自然～ ご案内

このたび、環境や体験と教育を研究対象とした4つの学会が連携し、それぞれの実践・研究領域の事例発表と、クロスディスカッションによる「子ども・暮らし・環境」フォーラムを開催します。それぞれの会に所属する研究者の交流を進めるとともに、重なり合う分野で議論を共有、新たな視点の開拓を目指すものです。

子どもたちの自然にかかわる機会が減ることで、成育上の問題も指摘されます。人の成長の過程で、自然とのかかわりはどのような役割を果たすのか、それが不足・欠乏することでどんな影響があるか、社会で、生活の中で、野外の活動で、教育の場で、自然を通して学ぶことはいかなるものか、それぞれの視点から、議論を深めたいと思います。

主催： こども環境学会、日本環境教育学会、日本生活体験学習学会、日本野外教育学会

共催： 立教大学 ESD 研究センター

日時： 2010年7月3日(土) 13:30～18:00 (16:45～18:00 は交流会)

会場： 立教大学池袋キャンパス・太刀川記念館

東京都豊島区西池袋 3-34-1 池袋西口より徒歩 10分、学院北門より徒歩 1分

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

対象： 該当学会の会員、学生、ほか一般

参加費： 1,000円(資料代、交流会費、当日会場で集めます)

申込み： 下記申込み先へ、①氏名、②所属、③連絡先(電話、メール等)、④所属学会(ない場合はない旨を明記下さい)を記載の上、メールもしくはFAXで申し込みください。定員になりましたら、締め切らせていただきます。

【参加申し込み先】

4学会フォーラム開催事務局 担当/森 高一

FAX: 03-5432-5130 Mail: kankyo@u-com.co.jp

立教大学 ESD 研究センターでも受け付けます。

FAX: 03-3985-2686 Mail: esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

プログラム(予定)：

12:30～ 受付

13:30～15:00 セッション1・「子ども・暮らし・環境」をテーマとした各学会からの発表

15:15～16:30 セッション2・上記発表をもとにしたパネルディスカッション、各学会紹介

16:45～ 交流会

18:00 終了

<発表者(予定)>

- ・ 仙田 満氏 (こども環境学会理事長、放送大学教授、環境建築家)
- ・ 中山 豊氏 (こども環境学会専務理事・事務局長)
- ・ 阿部 治氏 (日本環境教育学会会長、立教大学教授)
- ・ 岡島 成行氏 (日本環境教育学会副会長、大妻女子大学教授)
- ・ 増田 直広氏 (日本環境教育学会理事、(財)キープ協会環境教育事業部)
- ・ 緒方 泉氏 (日本生活体験学習学会理事、九州産業大学美術館学芸室長)
- ・ 南里 悦史氏 (日本生活体験学習学会会長、前東京農工大学教授)
- ・ 佐々木 豊志氏 (日本野外教育学会理事、くりこま高原自然学校・代表)
- ・ 坂本 昭裕氏 (日本野外教育学会理事、筑波大学准教授)

<展示>

フォーラム会場前のスペースに、各学会の研究活動や機関誌について展示、紹介するコーナーを設けます。パネルやポスターでの掲示のほか、パンフレット、会報誌の頒布を行います。

<交流会>

セッション2終了後、同じ会場で参加者間の交流会を行います。簡単なお菓子と飲み物を用意しますので、情報交換、名刺交換等自由に進めてください。参加者は当日受付でお渡しする名札を着用いただきます。

企画担当 : 中山 豊 (こども環境学会専務理事・事務局長)

上野 景三(日本生活体験学習学会事務局長、佐賀大学教授)

森 高一 (日本環境教育学会理事、大妻女子大学非常勤講師)

大石 康彦(日本野外教育学会理事、森林総合研究所多摩森林科学園グループ長)

企画統括 : 日本環境教育学会企画委員会

岡島 成行*、生方 秀紀、原田 智代、福島 古、森 高一 (*:委員長)